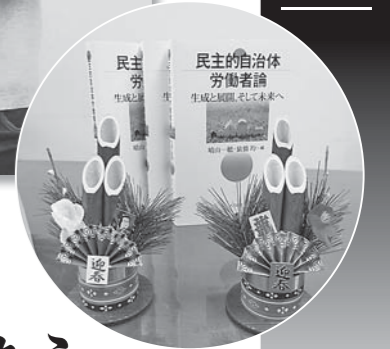


2020年「私の抱負」 みんな素晴らしいですね！



## 「住民の繁栄なくして自治体労働者の真の幸せはない」とは—仕事を通して語りあう

昨年、私たち全労連・自治労連は結成30周年を迎えました。そこで、私たちのバックボーンとも言える「民主的自治体労働者論」をテーマに、有田委員長と自治体の各分野で働く若い組合員との座談会を行いました。

有田 明けましておめでとうございませう。昨年は自治労連結成30周年、大阪自治労連も結成30周年を迎えました。多くの先輩が築いてきた自治労連運動の歴史を学んで生かすことが私たちの役目だと感じています。

そして、運動の中から生まれた「民主的自治体労働者論」は、自治労連運動の土台になっていませう。「住民の繁栄なくして自治体労働者の真の幸せはない」というスローガンは聞いたことがあるのではないのでしょうか。仕事を通じて感じることを、私たちの職場の状況を見つめながらその意味を考えてみたいと思います。まずは自己紹介をお願いします。



文田 好治さん  
枚方市職労(学校給食センター)

塚元 小さいころから誰か人のために何かをしたいという思いがすごく強くて、それを実現できる仕事って何かないかと思ったり、公務



塚元 寛貴さん  
大阪府職労(財産活用課)

していたんですけど、経営が厳しくて今はつぶれてしまいました。でもやっぱり給食を作っていたいなって、ずっと思っていたんで安定して自分のやりたいことをしたいなって。その時に見つけたのが枚方市でした。はじめは非常勤だったんですけど、3年目に正規職員に採用されました。

尾後 保育士をしています。保育士になるのが夢でした。祖母が保育士でしたので、憧れていました。兵庫出身ですが大阪市の保育士試験に受かったのが大阪に。



尾後 英里華さん  
大阪市労組(市立保育所)

たなあ」と思います。職場のみんなに伝えたら「良かった、次もそうしようね」みたいな話になって、そういう時はやりがいを感じますね。

### 子どもの成長にやりがいを感じて

尾後 やっぱり子どもの成長を日々見ていけるので、その分、やりがいがあります。人手も足りないし、安全面とか色々気を配らなければならぬんですけど、子どもの笑顔があるので、やりがいがあるのかなと思います。

有田 2020年の抱負について。手元の用紙に書いて、それぞれ抱負を語っていただけますか。

### 「今日の給食おいしかったよ！」子どもの笑顔に喜びが

文田 子どもたちに安心・安全な給食を提供できて、子どもたちに「おいしいよ」という声をもらった時は「ああ、やって良かった」と



有田 洋明さん  
大阪自治労連執行委員長

### 住民と自治体職員の笑顔あふれる年に

塚元 「府民第一の仕事！」です。今、5年目ですが、次の人事異動で出先事務所に移る予定です。府民の人と直接近い職場へ行くといいですね。あらためて、府民を第一に考えて仕事をするというのを忘れないということで、この目標にしました。(拍手)

有田 今、住民の暮らしも職場の状況も良くないし、いろんな将来不安があると思います。それは政治の問題です。国の政治が悪ければ自治体がカバーする。そんなことが必要だけど現実はずうではありませう。大阪府や大阪市が典型。カジノ誘致とか「都構想」で大阪市をなくすような動きを強めていて、2020年はそんな年になります。大阪市を残して発展させる、住民と自治体職員が笑顔あふれるような年にしたいですね。(一同拍手) (2月号につづく)

# 「住民が主人公」を実現することが自治体労働者の役割



仕事のやりがいを話しあいました

今は2年目で2歳児のクラスを受けもっています。

府民の大切な財産を有効に活用することに働きがいを持って

塚元 財産活用って公務員らしくないんですけど、いま使われていない土地を売って、それをまた違う府民の福祉に使ってもらおうと

「自分の利益を住民の前に置かず、地方自治の主人公は住民であり、自治体労働者の賃金・権利も、地域住民の置かれている現実によって規定され、それと無関係に自治体労働者の幸せがあるのではない」という立場には普遍性があります。「民主的自治体労働者論」は、自治労連が結成されたことで自治体労働運動の中で実践され深められていきました。

### 今月のキーワード

「民主的自治体労働者論」その普遍性

### 今月のキーワード

「民主的自治体労働組合論」その誕生

「民主的自治体労働者論」は要求闘争の経験と実践から生まれました。「地域住民の繁栄なくして、自治体労働者の幸せはない」(1963年衛連行動綱領草案より)は、「住民の福祉向上」という公務員の役割と労働者としての権利向上を一体としてとらえたもの。今では自治労連のスローガンになっており、「住民の中へ、住民とともに」憲法と地方自治を守る運動が根幹です。